

作物統計調査

令和5年産てんさいの作付面積及び収穫量（北海道）

— てんさいの収穫量は340万3,000tで、前年産に比べ4%減少 —

【調査結果の概要】

1 作付面積

作付面積は5万1,200haで、前年産に比べ4,200ha（8%）減少した。
これは、他作物への転換があったためである。

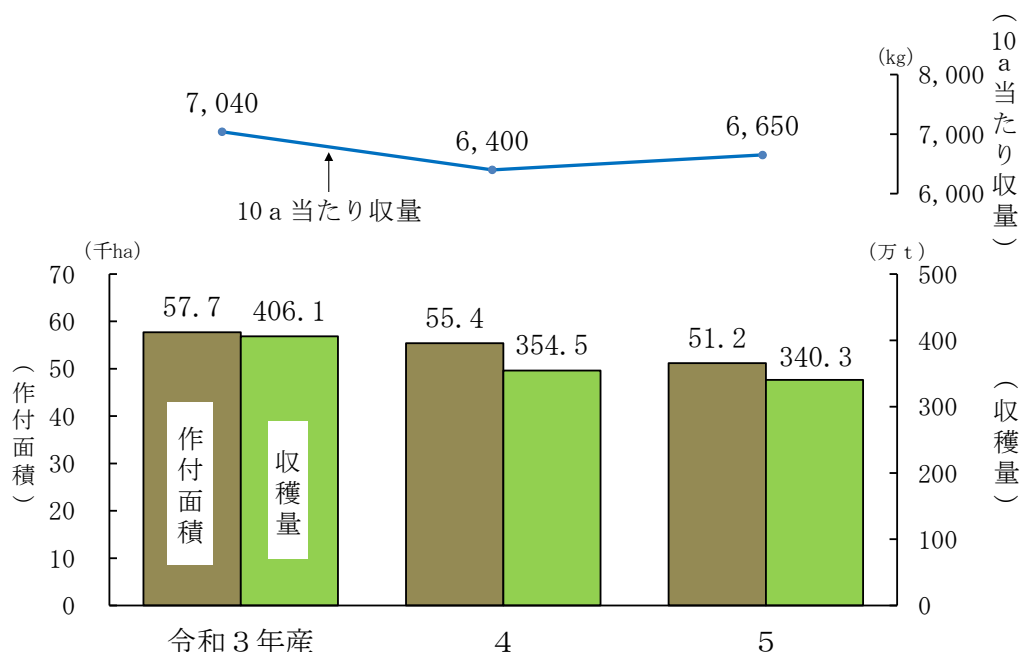
2 10a当たり収量

10a当たり収量は6,650kgで、前年産を4%上回った。
これは、おおむね天候に恵まれ、生育が順調であったためである。
なお、10a当たり平均収量対比は100%となった。

3 収穫量

収穫量は340万3,000tで、前年産に比べ14万2,000t（4%）減少した。

図 てんさいの作付面積、収穫量及び10a当たり収量の推移（北海道）



◎ 累年データ

てんさいの作付面積、10 a 当たり収量及び収穫量の推移（北海道）

区 分	作 付 面 積	10 a 当 た り 収 量	収 穫 量
	ha	kg	t
平成26年産	57,400	6,210	3,567,000
27	58,800	6,680	3,925,000
28	59,700	5,340	3,189,000
29	58,200	6,700	3,901,000
30	57,300	6,300	3,611,000
令和元	56,700	7,030	3,986,000
2	56,800	6,890	3,912,000
3	57,700	7,040	4,061,000
4	55,400	6,400	3,545,000
5（概数）	51,200	6,650	3,403,000

資料：農林水産省統計部「作物統計」

【 統計表 】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040137000&ext=xls>

【 調査の概要 】

・ 面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

・ 作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【 調査結果の主な利活用 】

- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況の検証のための資料
- ・ 経営所得安定対策の交付金算定等のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく畑作物共済事業の適切な運営のための資料

【 ホームページ掲載案内 】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「工芸農作物（さとうきび・茶など）」の「作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y14

- ・ 本資料の数値は概数値であり、確定した詳細な数値はホームページに掲載（令和6年4月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【 関連リンク 】

農林水産施策関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞大臣官房

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局＞甘味資源作物、
いも類、そば、なたね

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3682

（直通）03-3502-5687

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3589

（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



令和5年11月1日現在で、2023年漁業センサスを実施します。
(流通加工調査については令和6年1月1日現在)